

令和5年度 第3回臨時理事会議事録

令和5年8月15日～8月20日8:15において、「連盟ブランディングの取り組みについて」に関わり、メール配信による理事会を開催した。

理事総数20名 出席理事17名

監事総数2名 出席監事2名

メール配信による出席：

代表理事 児玉公正, 理事 丸山悟, 理事 高橋知美, 理事 木田京子, 理事 大塚健樹,
理事 長澤淑恵, 理事 舟山健一, 理事 佐藤理恵, 理事 高橋流星, 理事 伊勢幸広,
理事 増淵まり子, 理事 濱貴一, 理事 二瓶雄樹, 理事 田島良輝, 理事 渡邊華月,
理事 井上明子, 理事 山田優子, 監事 森田啓之, 監事 平野義明

[決議事項]

1. 連盟ブランディングの取り組みについて（資料あり）

木田専務理事より、長澤常務理事から提案のあった「連盟のブランディングの為の取り組み」に関わる専門会社（CCCMKホールディングス）との契約可否について、メールにて審議願いたい旨の提案がなされた。本提案に関わり、賛成意見に加えて以下の意見および質問があげられた。

<田島理事>

- ・専門会社に「現状分析、具体的な成果設定、成果達成のための選択肢等の施策」についても提案してもらえるとよいのではないか。
- ・1年では成果達成が難しいため、複数年かけて専門会社と成果達成の施策を検討できれば成果達成の可能性が高まると考える。

<山田理事>

- ・当該企業から提示された資料をたたき台としてディスカッションを重ねたうえで、ロードマップ・納品すべき成果物（キャラクターの権利帰属等も含む）・対価等、明確にする必要があると考える。キャラクター作成はデザイン会社に依頼するのか連盟で行うのか、また、学生インタビュー時の出張費等についても詳細を詰めたほうがよい。
- ・キャラクター作成やブランディングは費用対効果の測定が困難な案件であるため、「いつまでに、何を、どのような形で」成果物とするのか、慎重に検討すべきである。
- ・本件は「専門委員会規程」第2条所掌事項によれば、(3)普及委員会「イ その他、普及に関する事項」に該る案件であり、今後の進め方や意思決定フローについても検討したほうがよい。

<伊勢理事>

- ・成果物としては何を予定しているか。また、裾野拡大の可能性や連盟の維持・拡大と

いう観点から、インタビュー対象者の選定方針はインカレに出場できなかったチームにもスポットが当たるとありがたい。

- ・キャラクターの著作権や LINE スタンプの収益はどうか。
- ・連盟としての目的を明確にするために、キャラクター作成の効果について、着地点（求める成果）を議論し、本提案をより良い方向にもっていきたい。
- ・当該企業への支払方法に関り、見積書の表記は適切でないため、先方に表記の工夫を依頼したほうがよい。
- ・今年度の広報費予算の使途としては何が想定されていたのか。

<二瓶理事>

- ・本件は連盟の行方を左右する内容であり、多額の予算にも関わるため、まず学連のビジョンについてコンセンサスを得たうえでコンサルティングの有無について議論する必要性を感じており、メール審議でよいのか確認したい。
- ・当該企業を選定した理由および見積書の「面談、資料作り」(各5万円＝一回10万円)の金額の妥当性について説明いただきたい。
- ・ロゴは数年前に新しくしたが、今回変更する方向でよいのかを含め、ロゴ・マスコット作成の必要性についてコンセンサスを得ることが必要である。

上記の質問および意見に関わり、長澤常務理事より以下の説明と回答がなされた。

- ・プロモーション提案を進めていくために昨年度2月に知人からコンサルティング会社の紹介を受けた。当該企業は他競技のプロモーション等にも携わっており、成果をあげている企業である。
- ・競技人口を増やすためには「子どもを取り込むことが第一で、大人がついてこなければ成り立たない」こと、大学ソフトボールの認知度を高めるためには「大学ソフトボール」という視点でまず「視覚的に印象に残るもの」の作成を提案された（企業提案資料参照）。
- ・長期的かつ継続可能な計画をたて、今年度はインタビューを含めたキャラクター作成に注力し、そのゴールを「キャラクターの認知度を上げること」として設定した。
- ・今年度の事業計画や予算計上は、これらの施策を見越して提案したものである。
- ・来年度は、作成したキャラクターを各大学・地区で活用してもらい、その成果によって今後の契約・方針を決めていく。現状把握や成果等に関しては可能な限りの資料を専門会社に提示してもらう予定である。
- ・当該企業へのコンサル料金について、昨年度2月からの相談は対象外であり、当該企業への支払いは8月からとして調整した。

メール審議の結果、賛成意見は過半数に達しているが、本提案について多岐にわたる意見があり、連盟の今後を見据え、提案内容の再検証（業者の選定や金額の妥当性等、広い

視野を持ったうえで、連盟のガバナンスの観点から委員会等の組織で検証することも検討)を行い、ブランディングに対して前向きに検討していくことを前提に「継続審議」とした。

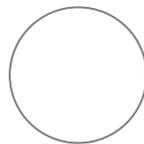
上記議事の経過の要領及びその結果を記載し、定款の規定により、代表理事、出席監事が次に署名又は記名押印する。

[署名又は記名押印は次頁以降]

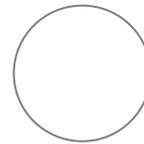
令和5年 月 日

一般社団法人全日本大学ソフトボール連盟

議長・代表理事 児玉 公正



実印

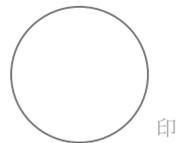
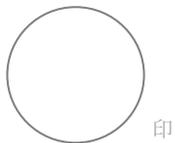


実印

令和5年 月 日

一般社団法人全日本大学ソフトボール連盟

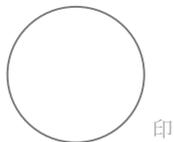
監事 森田 啓之



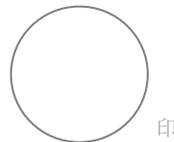
令和5年 月 日

一般社団法人全日本大学ソフトボール連盟

監事 平野 義明



印



印